

図書館だより

～ 今月のおすすめ本 ～



私、農家になりました。
三好かやの、高倉なを、斉藤勝司
「自然が好き」「子どもに野菜を食べさせたい」など、さまざまなきっかけで農業に転職した12人の奮闘記です。大変そうですが、つらそうではありません。生き生きとした笑顔が印象に残り、元気をもらえる1冊です。(東)



江戸の十二支+α どうぶつえん
安村敏信
江戸の絵師たちが腕を振った膨大な動物画の中から、十二支の動物を中心に紹介した“誌上動物園”。写実的なものから擬人画まで、実に多彩で楽しめます。著者による解説も付いていて、関心が高まりつつあるという江戸絵画の世界へと誘ってくれます。(西)

▶詳しくは、東図書館 (☎ 62・0190)
西図書館 (☎ 75・5406) へ。

ドクターTのひとりごと その30「道徳について」

近年、親の子どもへの虐待、ドメスティックバイオレンス(配偶者や内縁関係等男女間に起こる暴力的行為)、学校での「悪質ないじめ」などが多発し、大きな社会問題となっている。このような社会現象の要因として道徳心の欠如が指摘されている。道徳教育は学習指導要領に規定されているが、学校の教育活動全体を通じて行うものであるとして、単一の教科となっていないのが現状である。

そうした中で、2018年から正規の教科として位置付け、検定教科書の導入が検討されている。私が子どもの頃には道徳の授業があったことは覚えているが、その内容は全く思い出せない。しかし、両親から物事の正邪・善悪の判別や共同生活を快適に行う為を守るべき規範を厳しく躰けられたことは鮮明に記憶に残っている。

私は、子どもが幼い時に親から深い愛情を受ける中で、厳しく躰けられることが極めて重要であると考えている。そのような環境を基盤として道徳教育を行うことで更なる効果が期待され、その時期は幼い時ほど効果的であると思っている。また、単なる言葉だけでは不十分であり、大人が態度や行動で道徳的な規範を示すことが重要である。子どもの躰けは一義的に親であるが、地域社会全体でサポートすることも大切である。


くらしの豆知識

～「フェアトレード」について知ろう～

コーヒーや紅茶、カカオ製品、バナナなど私たちが日々購入している商品には、貧困や児童労働などの問題を抱える開発途上国が原産のものがあり、驚くほど安い価格で販売されていることがあります。そして、途上国では、その安さを生み出すために生産者に正当な対価が支払われなかったり、生産性を上げるために必要以上の農薬が使用され、環境破壊が生じる事態が起こっています。

◆「フェアトレード」は直訳すると「公平な貿易」

フェアトレードとは、消費国側が開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、経済格差の解消や弱い立場にある開発途上国の生産者・労働者の生活改善と自立を目指す「貿易の仕組み」を言います。

 左の国際フェアトレード認証ラベルは、フェアトレードの国際基準を守った商品に付けられているもので、近年、大手スーパーやコンビニエンスストアなどでも見かけるようになってきました。例えばチョコレートを買うのなら、少し高くてもこのラベルの付いたものを買うというように、身近な消費行動を通して私たちにできる社会貢献について考えてみませんか。

《市民相談課》

防災ひとくちメモ もしものときに「備蓄のコツ」- 前編 - ～ 食料品を備えておきましょう ～

地震などの大規模な災害の発生により、食料品の不足が生じたり、自宅での避難を余儀なくされる場合や新型インフルエンザなどの発生により、不要不急の外出を控えることを余儀なくされたりする場合に備え、日頃から食料品を備えておきましょう。《危機管理・防災課》

『最低でも3日分。できれば1週間程度の備蓄』が理想

- | | |
|---|---|
| 【水】 | 【米】 |
| <ul style="list-style-type: none"> 飲料水として、1人当たり1日1ℓ必要 調理などに使用する水を含めると3ℓ程度必要 | <ul style="list-style-type: none"> 2ℓの米1袋(水と熱源があれば約27食分) |

- | | |
|--|--|
| 【カセットコンロ】 | 【缶詰】 |
| <ul style="list-style-type: none"> 食品を温めたり簡単な調理に必要 カセットボンベも忘れずに! | <ul style="list-style-type: none"> 調理不要でそのまま食べられるものを選ぶと便利 缶詰によっては缶切りも忘れずに! |

豆知識
「ローリング・ストック」
普段から購入している食料品などを多めに「買い置き」し、消費した分を補充していく方法(ローリング・ストック)で無理なく備えましょう。

⚠ 避難所へ避難するときは、可能な限り食料・毛布などを持って行ってください。

「引き揚げ」の記憶を次世代へ

引揚記念館に展示・保管している海外からの引き揚げヤシベリア抑留などに関する約1万2千点の資料の中から、今回は「幼児服」を紹介します。

一般の引揚者には女性や子どもが多く、その中にはまだ物心もつかない小さな子ども達もたくさんいました。そうした子ども達にとって、危険が伴う引き揚げで、両親は何よりも心強い存在でした。しかし、そんな両親を病気や襲撃などによって失う子ども達もいました。

この幼児服を着ていた男の子も、引き揚げ途中に唯一の肉親であった母親を失ってしまいました。当時まだ2歳だったといえます。

その子の母親は、お腹に新たな命を宿していました。そのような体で、男の子を連れ、荷物を背負い、長く険しい道のりの末にようやく日本人を収容する施設に到着したのです。そこでは、食料確保のために行われていた農作業に加わらなければならず、重労働とたび重なる疲労が原因で早産となり、母親とお腹の子は亡くなってしまいました。

母を失い、身寄りのなくなった男の子を見かねた若い夫婦が、引揚船に乗船するまでの間、男の子を預かり、わが子のように世話をしました。男の子は着替える服



▲手作りの幼児服

さえなかったのかもしれませんが。夫婦は、食べるものさえ不足する中で、日本兵の下着をもらい、収容所のつらい農作業の合間を縫って、男の子のためにこの服を作りました。

いよいよ日本へ引き揚げることになり、なんとか男の子を静岡の親戚に送り届けることができました。幼児服は夫婦の手元に残りましたが、ずっと捨てられずに持っていたそうです。

あれから約70年もの月日が経過し、男の子のその後の消息はつかめなくなってしまいましたが、この服を見るたびに必死になって生きようとした当時の記憶がよみがえり、怖くつらかった戦争は二度と繰り返してはならないと平和への思いを新たにするといいです。

この幼児服には、悲しい引き揚げの歴史とともに、つらかった日々の中でも人間愛をもって守り抜いた命の軌跡が秘められているのです。

▶詳しくは、引揚記念館 (☎ 68・0836) へ。

叙勲の受章者、厚生労働大臣表彰者、全国大会で好成績、全国大会等出場者を紹介

秋の叙勲

- ◆旭日中級章
江守光起(浜)
- ◆地方自治功労(元舞鶴市長)
- ◆瑞宝双光章
江守和代(浜)
- ◆更生保護功労(現保護司)
- ◆瑞宝単光章
鹿田三良左衛門(丸田)
- ◆消防功労(元八雲消防団団長)
- ◆眞下利夫(久田美)
- ◆消防功労(元岡田下消防団団長)
- ◆宮原操(丹波)
- ◆消防功労(元西消防団団長)
- ◆厚生労働大臣表彰
鈴木貴一(余部上)
- ◆民生委員・児童委員
桑原町子(八反田南町)
- ◆社会福祉従事者等
以上敬称略
- ◆優勝:大滝直義(大内野町)
- ◆以上敬称略

全国大会で好成績

- ◆☆全日本ベテランテニス選手権
(9月27日～10月8日、愛知県)
- ◆優勝:大滝直義(大内野町)
- ◆以上敬称略

全国大会出場おめでとう

- ◆☆国民体育大会トリアスロン競技
(10月13日、長崎県)
- ◆山下陽裕(立教大3年、白糸中出身)
- ◆☆日本トリアスロン選手権大会
(10月26日、東京都)
- ◆辻泰樹(福岡県トリアスロン連合白糸中出身)
- ◆山下陽裕(立教大3年、白糸中出身)
- ◆☆ジュニアオリンピック陸上競技大会
(10月31日～11月2日、神奈川県)
- ◆宮本光翼(城南中2年)
- ◆☆全国障害者スポーツ大会
(11月1日～3日、長崎県)
- ◆◇水泳競技:林大智(伊佐津)
- ◆◇卓球競技:近藤晴美(余部上)
- ◆◇ボウリング競技:荒賀圭澄(行永)
- ◆☆日本バドミントンジュニアグラチャン2014
(11月21日～23日、宮城県)
- ◆谷口侑弥、村上知紘(以上城南中3年)
- ◆☆全国小学生バドミントン選手権大会
(12月25日～29日、新潟県)
- ◆今西臣介(岡田小6年)
- ◆以上敬称略